
光の国

Nazon

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光の国

【Nコード】

N4733C

【作者名】

Nazzon

【あらすじ】

幸せとは？その疑問をもっているなら、ぜひお読みください。

幸せとは何だろう

綿飴のごとくふんわりとしているのであろうか

それとも逞しい筋肉のごとく強くしなやかなのであろうか

分からない

ただ一つの感覚

ぼんやりとした感覚

俺は馬鹿だ

目に見える物でさえ

満足に表現できないのに

目に見えない物を

貧弱な語彙で具現化させようとしている

俺は馬鹿だ

そもそも人はどういつ時に幸せになるのか

俺には分からぬ

世の中の人々は幸せそうだ

しかし自分は薄暗がりの中で

鼠やゴキブリなどと仲良くなっている

世の中の人々は光り輝いている

しかし自分は遙か地底深くで

蠟燭を手に必死にさまよっている

今度生まれ変わったら

もつと良い人生を送れるだろう
幸せな人生を・・・

いや、まてよ

すべての人間は平等と

どこかの賢者が言った筈だ

ひらめいた

すべての人間は平等だと

同じ量の幸せを分かち合い

同じ量の苦痛を耐えしのぶ

「幸せの量＝苦痛の量」という

永久不変の方程式が存在するはずだ

いや、まてよ

幸せと苦痛なんて

一枚のコインの表裏と同じ

人生とはコインを投げ続けることなのだ

なあんだ

幸せと苦痛なんて

たかがコインの表裏

それぞれの面が出る確率は二分の一

たかが知れている

俺は外に出ることにした

人々はもう

幸せでも

輝いても

いなかった

ただの操り人形
幸せと苦痛は同じものだとも知らずに

俺も今までは
操り人形だった

しかし今は自由の民
光の国の国民

俺は野を越え

山を越え

海を越え

世界を越え

宇宙を越えた

そしてその先にあるものを見た
振り返ることはしなかった

光の国・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4733c/>

光の国

2010年11月4日01時14分発行